

|            |   |                                       |           |      |  |                   |     |
|------------|---|---------------------------------------|-----------|------|--|-------------------|-----|
| 科目コード      | N22329  | 科目名                                   | 精神保健看護方法論 |      |  |                   |     |
| 履修区分       | 必修  | 開講期                                   | 3年前期      | 授業回数 | 15回                                    | 単位数               | 1単位 |
| 担当者        | 村木士郎 今坂鈴江   |                                       |           |      |  |                   |     |
| 授業の概要      | 精神保健看護学概論・理論を基盤として、精神障害のある対象への看護過程、治療的対人関係形成、地域支援についての演習を行う。  |                                       |           |      |  |                   |     |
| DPとの関連     | 平和を希求する姿勢を身につける   |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 豊かな教養を身につける   |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける  |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける   |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける  |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける  |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける   |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける   |                                       |           |      |  |                   |     |
| 到達目標       | 異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける   |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力   |                                       |           |      |  |                   |     |
| 履修上の注意事項   | 1. 精神障害のある対象の事例からオレム・アンダーウッドモデルを用いた情報整理とアセスメントを行い、看護過程を展開できる。                                       |                                       |           |      |  |                   |     |
|            | 2. 地域精神医療と社会福祉の観点から生活する精神障害者の支援について述べられる。   |                                       |           |      |  |                   |     |
| 授業計画       | 回数  | 講義内容【担当教員】                            |           |      | 事前・事後学修                                |                   |     |
|            | 1   | セルフケアモデルと「Bio/Psycho/Socialモデル」【村木士郎】 |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 2   | 事例を用いた看護過程の展開（1）事例紹介・情報収集【村木士郎】       |           |      | 講義中にレポート作成の時間をつくる。次回の講義開始直後にレポートを提出する。 |                   |     |
|            | 3   | 事例を用いた看護過程の展開（2）精神症状の査定【村木士郎】         |           |      | 講義開始直後に前回レポートの提出。記載内容を確認する。            |                   |     |
|            | 4   | 事例を用いた看護過程の展開（3）セルフケア状態の査定【村木士郎】      |           |      | 講義開始直後に前回レポートの提出。記載内容を確認する。            |                   |     |
|            | 5   | 事例を用いた看護過程の展開（4）BPS統合・看護の方向性の検討【村木士郎】 |           |      | 講義開始直後に前回レポートの提出。記載内容を確認する。            |                   |     |
|            | 6   | 事例を用いた看護過程の展開（5）看護計画【村木士郎】            |           |      | 講義開始直後に前回レポートの提出。記載内容を確認する。            |                   |     |
|            | 7   | 事例を用いた看護過程の展開（6）まとめ【村木士郎】             |           |      | 講義開始直後に前回レポートの提出。記載内容を確認する。            |                   |     |
|            | 8   | 精神科病棟における看護・治療的環境と人権【村木士郎】            |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 9   | 精神科看護における治療的人間関係【村木士郎】                |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 10  | 地域精神医療・福祉における社会資源（1）【村木士郎】            |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 11  | 地域精神医療・福祉における社会資源（2）【村木士郎】            |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 12  | 事例を用いた退院支援の展開 退院後のイメージ【今坂鈴江】          |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 13  | 精神科医療における多職種連携【今坂鈴江】                  |           |      | 授業終了前にC-ラーニングにて講義内容についての小テストを実施する。     |                   |     |
|            | 14  | 精神障害者の理解を深める「視覚教材」（1）【村木士郎】           |           |      | 講義終了後にレポート（視聴メモ・感想・考察）を提出する            |                   |     |
|            | 15  | 精神障害者の理解を深める「視覚教材」（2）【村木士郎】           |           |      | 講義終了後にレポート（視聴メモ・感想・考察）を提出する            |                   |     |
| 成績評価方法     | 期末試験（60%）、レポート・小テスト（40%）<br>再試験を実施する場合、再試験（60%）とし、レポート・小テスト（40%）の評価は維持する。                           |                                       |           |      |  |                   |     |
| 教科書        | 書名・著者（出版社）  |                                       |           |      |  | ISBNコード           |     |
|            | 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 渡邊博之・岩崎弥生編集（メヂカルフレンド社）  |                                       |           |      |  | 978-4-8392-3306-8 |     |
| 参考書        |   |                                       |           |      |  |                   |     |
| 教員からのメッセージ | 精神疾患（統合失調症・気分障害）の症状や病態生理や薬物療法を復習してから演習に参加すること。後期からの臨地実習で実践できるように学習すること。事例から得た情報についてアセスメントする能力が必要です。 |                                       |           |      |  |                   |     |
| 教員との連絡方法   | C-ラーニング「連絡・相談」あるいは muraki@hcu.ac.jp（村木士郎） imasaka@hcu.ac.jp（今坂鈴江）                                   |                                       |           |      |  |                   |     |
| 実務経験のある教員  | 精神科での看護師経験や臨床場面での体験を活かし、看護過程の展開や退院支援についての教育を行う。   |                                       |           |      |  |                   |     |